

新型コロナウイルス感染症：中東地域各国の状況

令和2年6月16日
中東調査会

感染者数（感染者数順）と死者数：6月15日時点 出所：各国発表

国・地域	感染者数 (前日比)	死者数 (前日比)
イラン	189,876 (+2449)	8,950 (+113)
トルコ	179,831 (+1592)	4,825 (+18)
サウジアラビア	132,048 (+4507)	1,011 (+39)
カタール	80,876 (+1274)	76 (+3)
エジプト	46,289 (+1691)	1,672 (+97)
アラブ首長国連邦	42,636 (+342)	291 (+2)
クウェイト	36,431 (+511)	298 (+2)
アフガニスタン	25,527 (+761)	478 (+7)
オマーン	24,524 (+1043)	108 (+4)
イラク	21,315 (+1106)	652 (+45)
イスラエル	19,237 (+182)	302 (+2)
バハレーン	19,013 (+786)	46 (+4)
アルジェリア	11,031 (+112)	777 (+10)
モロッコ	8,885 (+92)	212 (+0)
レバノン	1,464 (+18)	32 (+0)
チュニジア	1,110 (+14)	49 (+0)
ヨルダン	979 (+18)	9 (+0)
イエメン	844 (+116)	208 (+44)
パレスチナ	686 (+10)	5 (+0)
リビア	467 (+13)	10 (+0)
シリア	177 (+0)	6 (+0)

◆感染症危険情報の現状（6月15日現在）

- レベル2**（不要不急の渡航をやめてください）：中東全域
- レベル3**（渡航中止勧告）：アフガニスタン、UAE、アルジェリア、イスラエル、イラク、イラン、エジプト、オマーン、カタール、クウェイト、サウジアラビア、トルコ、バハレーン、モロッコ、レバノン

◆各国の主な取り組み・動向（6月15日現在）

アフガニスタン	社会経済活動を段階的に再開
UAE	感染拡大のピークを過ぎたとの認識が強く、経済活動も段階的に再開
アルジェリア	6月14日より外出規制緩和の第2段階に入り、公共交通機関が再開
イエメン	内戦による医療・衛生関連インフラの崩壊を背景に、高い死者数割合
イスラエル	段階的に経済活動を再開
イラク	感染者数が増加傾向。5月の新内閣誕生を受けて医療支援の活発化が期待される
イラン	現在、「第2の波」に直面。6月11日より感染拡大防止の「第3段階」に入り、国民による健康指針の遵守と社会経済活動の共存を模索
エジプト	感染拡大ピーク局面。7月1日から空港を段階的に再開予定
オマーン	新規感染者数が増加傾向。経済活動の再開には慎重な姿勢
カタール	感染拡大の推移は横ばい。経済活動の再開は時期尚早との認識が見られる
クウェイト	感染拡大の推移は横ばい。経済活動の再開には慎重な姿勢
サウジアラビア	経済活動の再開に積極的も、新規感染者の増加率が上昇
シリア	ダマスカス及び近郊で感染者。段階的に経済活動を再開
チュニジア	6月8日から外出禁止令が解除
トルコ	LCCのペガサス航空が6月15日より、ドイツ、オーストリア、スイス、デンマーク、英国、オランダ、フランス、ベルギーへの定期便再開
バハレーン	感染拡大の推移は横ばい。経済活動の再開は時期尚早との認識が見られる
パレスチナ	段階的に経済活動を再開
モロッコ	6月11日から一部の経済活動が再開
ヨルダン	店舗の営業時間の延長など、段階的に経済活動を再開。6月から新規感染者微増。
リビア	夜間外出禁止令（18-6時）を6月17日まで延長（GNA政府）
レバノン	7月5日まで「総動員」（移動・外出禁止）継続

※各国の対応はウイルス感染状況に応じて刻々と変化するため、詳しくは各自ご確認いただくようお願い申し上げます。